

## 会議概要記録

件名	第2回鹿児島市動物愛護推進協議会	作成課	保健部 生活衛生課
日時	令和6年9月30日（月）14時00分～16時00分		
場所	鹿児島市役所別館3階 302会議室		
出席者	委員：10名（欠席1名）		
市出席者	事務局：3名 生活衛生課長、動物愛護管理係長、係員		
会次第	1 開会 2 議事 (1) 鹿児島市動物愛護基金（仮称）の用途について (2) 犬・猫の負傷動物の対応について (3) 動物愛護管理センターにおける犬・猫の焼却について (4) 動物愛護推進員の推薦について 3 その他 4 閉会		
主な決定事項	・動物愛護推進員の推薦について【了承】		
主な意見等	(○委員 ●事務局)  2 議事 (1) 鹿児島市動物愛護基金（仮称）の用途について ○寄附金をどのようなことに使ってほしいと要望はできるのか ⇒●細かい要望は受けられないが、動物愛護全般について寄附をいただき、協議会で検討いただいた用途に活用させていただく形になるかと思う。基金の使われる内容等については、ホームページ等に載せる予定。 ○基金のPRは、リーフレット等だけではなく、SNSの活用なども視野に入れているのか ⇒●市のホームページ、SNS等を活用して周知を行う予定。  (2) 犬・猫の負傷動物の対応について ○ボランティア診療の先生が来られるまでの日にちがあくと思うのだが、こちらから病院へ連れていけば生存率を上げられるのでは。 ⇒●現状、随時連れていくのは治療費や人手の問題もあり難しい。 ○訪問診療の頻度を増やすとか、応急処置で委託している動物病院につれていけるように基金で資金調達していく、このような体制を協議会としてもバックアップし		

ていきたい。

○ボランティアが無償で何もかもするというのはおかしいと思う。実費くらいは出すべき。無償だと、依頼するほうも頼みづらいのでは。

○現場との連絡体制も、見直してほしい。(メール、テレビ電話の活用など)

(3) 動物愛護管理センターにおける犬・猫の焼却について

○どうしても自然死で亡くなる動物はいるので、必要でない設備ではないが、市が運営するのか、民間に委託するのか、ちょっとでも費用が抑えられるように変えていけたらいいと思う。

○使用頻度が減っていることで、焼却炉の規模自体を小さくするという考えもあるのか？

⇒●維持費、イニシャルコストを考えると委託した方がよいと考えている。

(4) 動物愛護推進員の推薦について

○推進員を増やす理由？

⇒●中核市の平均に比べると、鹿児島市は少ない。様々な人に協力していただきたい。

○推進員に相応しい人がいたら、協議会に推薦していいのか？

⇒●協議会で議論していただき、推薦していただく形になる。

○推進員の活動内容を示してもらえれば、推薦しやすい。

⇒●推進員の役割についても、今後この協議会の中である程度決めていくことになる。